水道・下水道を利用する皆さんに知ってほしい 上下水道事業のこと

上下水道局では、「蛇口をひねれば水が出る、水を流せば下水道が処理してくれる」という「あたりまえ」を守り、未来に継続していくために、事業に取り組んでいます。

問合先　上下水道局　総務課 TEL 20-1623 FAX 20-1624

Q 上下水道局って、普段どんな仕事をしているの？

A 皆さんに安全な水をお届けするための水の検査、管路の更新、管路に異常がないかの調査など安全・安心に上下水道を利用していただくためのさまざまな取り組みを行っています。



安全な水を提供するため水質検査をしています



老朽した管路の更新工事をしています



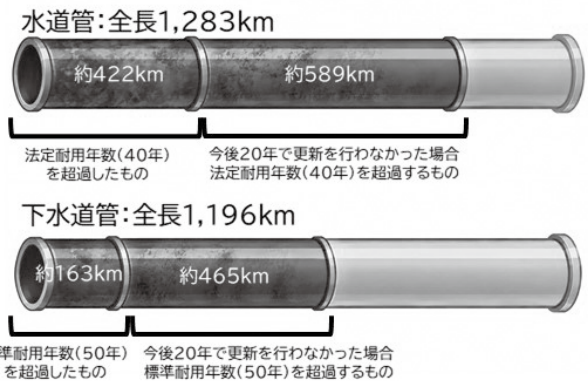
管路に異常がないか調査をしています



Q 最近、道路の陥没や古くなった水道管や下水道管についてのニュースをよく見るけど、実際、水道管や下水道管って、そんなに古くなってきているの？

A 施設の老朽化が進んでいます。特に水道管、下水道管に関しては、20年後には耐用年数を超過する管の割合が高くなる見込みです。





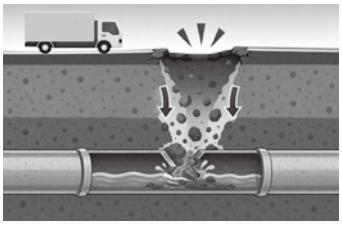


Q 施設の老朽化や、地震などの災害に備えて、どんなことに力を入れているの？

A 陥没等を引き起こさないための「老朽化対策」や、頻発化・激甚化する地震に備えた「耐震化」として、水道管及び下水道管の更新工事を計画的に取り組んでおり、今後も進めていく必要があります。

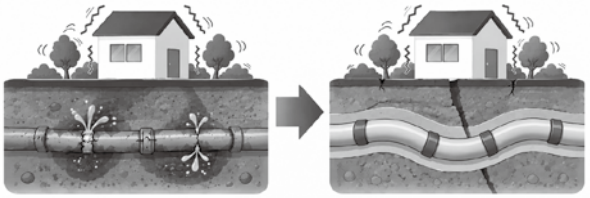


管の老朽化による陥没のイメージ



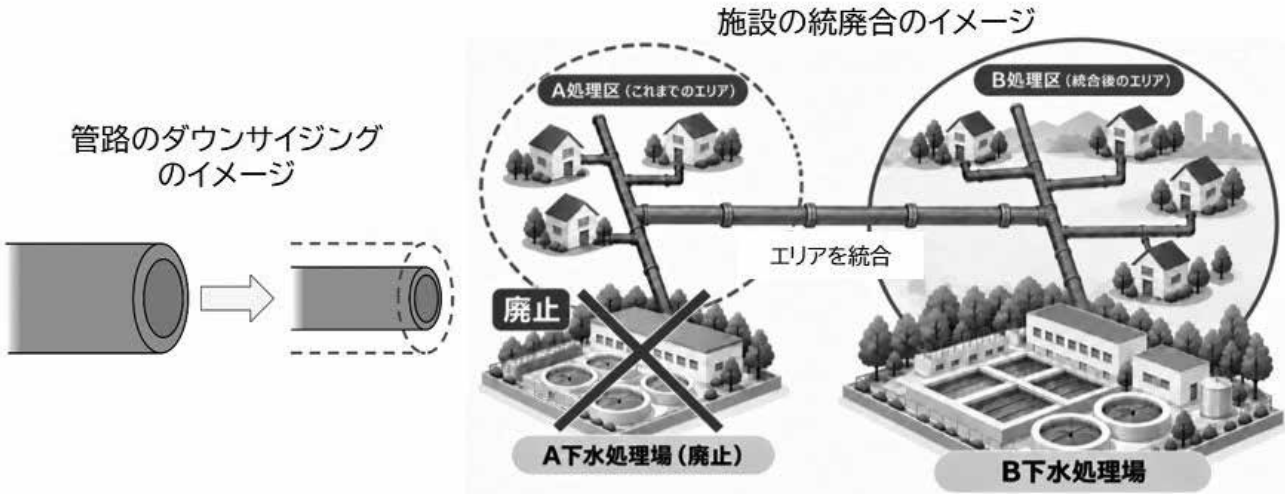
耐震管のイメージ

※耐震管：地震時に抜け出しや破断を起こしにくい構造の管



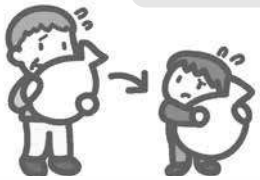
Q 事業を進める中で、どのような経営努力をしているの？

A 管路のダウンサイジングや施設の統廃合など、できる限り経費を抑えた効率的な事業を行う工夫をしています。また、複数業務をまとめて民間に任せる契約方式による官民連携、富山県西部6市でのシステム共同利用といった広域連携を推進するなどの経営努力も行っています。



Q 施設を新しくしたり、地震に備えたりするためのお金は大丈夫なの？経営状況は？

A 人口減少などにより、水の使用量も減り、収入が減ってきています。さらに、物価高騰などの影響により、施設の維持管理や更新に以前よりも経費がかかるようになり、水道事業・下水道事業ともに経営状況は悪化しています。特に水道事業については、令和11年度には赤字に転落する見込みです。

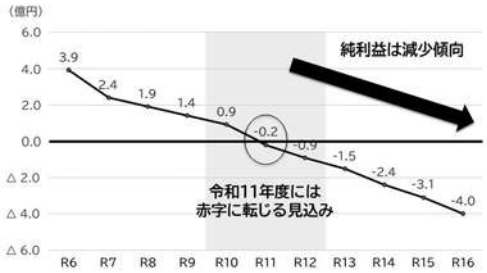




施設の運用にかかる
電気代は約1.5倍



上下水道工事の経費は約1.8倍



上下水道局では、将来にわたって、安全・安心な水をお届けし続けること、下水道で衛生的な処理を続けることを目指しています。しかしながら、水道事業の経営状況はここ数年のうちに悪化することが見込まれ、耐震化や老朽化更新等の必要な事業が行えなくなる状況になりつつあります。

そのような状況のため、9月4日に有識者等で構成する高岡市上下水道事業経営委員会に「水道事業における水道料金のあり方について」を諮問し、水道料金に関する検討を開始しました。

審議の内容については、市のホームページで順次掲載させていただきます。

市HP

36地区で聞いた、高岡のこれから



あなたの声が、まちの未来をつくります。



市長が市内36地区を訪問し、地域の課題や将来のまちづくりについて、皆さんと直接語り合う「まちかどトーク」を開催しました。
いただいた声は、これからのまちづくりに生かしていきます。

問合先　広報発信課 TEL 20-1232 FAX 20-1664

まちかどトークとは？

市長が地域に出向き、住民の皆さんと直接意見交換をする場です。
地域の魅力や課題、将来のまちの姿について語り合い、市民主体のまちづくりを進めていくことを目的としています。

開催概要

開催期間	令和7年10月～令和8年7月
訪問した地域	市内36地区（全連合自治会で開催）
参加者数	延べ1,634人
意見・提案数	505件

こんな声がありました（一部抜粋）

高齢者等の災害時の避難に関して、より具体的な行動がわかると良いのでは。



こどもが安心して過ごせる居場所づくりを。



高岡の魅力をもっと発信して、観光や産業につなげてほしい。



地域交通システムの導入に向け、地域に即した支援を。



市長からのメッセージ

皆さんと膝を交えて地域の未来を語り合う「まちかどトーク」を、市内全域で実施しました。
この「対話」のなかで、地区の皆さんから切実なご意見をいただき、対話こそが、まちを動かす最高の原動力であると改めて確信いたしました。
まちかどトークでいただいたご意見は、市政の「チェンジ」に生かし、課題解決に向けた施策や市政運営に、最大限反映していきます。

まちかどトークでいただいた様々な声は市HPでも公開しています。ぜひご覧ください！

市HP

皆さんの声から、動き始めています

まちかどトークでいただいたご意見に対し、市はこう考え、取り組みを進めています。



空き家対策

住民の声

空き家が多い。このままだと地域に悪影響があるのでは。



市の考え

空き家の増加は、地域の安全や環境の面でも大きな課題です。市内全域の空き家の実態を把握し、危険な空き家発生の未然防止や空き家が放置されにくい地域づくりを進めていきます。

主な取り組み

◆空き家実態把握調査事業

調査員が市内を巡回し、空き家と思われる建物について、外観調査等を行います。

◆まちぐるみ空き家対策危険防止支援事業

自治会による危険防止の措置や弁護士相談等の取り組みを支援しています。



地域活動

住民の声

自治会の担い手が少なく、地域活動の継続が難しくなっている。



市の考え

地域活動の効率化と参画者の拡大に向けて、各団体が補完しながら活動する「多機能地域自治」の取り組みを推進しています。

主な取り組み

◆多機能地域自治組織導入・活動支援事業

多機能自治組織の設立を目指す地区に外部アドバイザーを派遣して設立を支援するとともに、交付金により設立後の取り組みを支援しています。



人口対策

住民の声

高岡の活力を維持するために、ぜひ県外から若い夫婦に来てもらいたい。



市の考え

移住支援に加え、結婚・子育て世帯への支援等を実施し、若い世代が暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

主な取り組み

◆高岡市移住新婚世帯家賃支援金

若い世代の定住を後押しするため、県外等から移住された新婚世帯の家賃を支援しています。

もっと地域で、
もっと話そう。

まちまわりは、これからも続きます！



次期総合計画の完成にあわせ、本市が描く未来のビジョンを皆さんにお示しする機会を設けたいと考えています。これからもぜひ皆さんの声をお聞かせください。

まちづくりは、対話から。
皆さんからいただいた声を、
これからの高岡へ。

高輪ゲートウェイ駅から高岡の魅力発信！
～移住・定住促進に向けて～



県外の人に高岡の魅力「自然、文化、暮らし、人」を肌で感じていただくことは、関係人口の拡大、そして移住へと繋がる重要なステップです。今回、日本郵政グループと連携が実現。同社がJR高輪ゲートウェイ駅前に設ける地域情報発信拠点「POSTUDIO（ポスタジオ）」にて、高岡の魅力の発信に取り組みました。

問合先　チェンジ推進課 TEL 20-1320 FAX 20-1670



POSTUDIOの大型ディスプレイを活用した名所の紹介

主な活動

- **7月** POSTUDIOでの発信スタート（～10/15）
- **9月** 高岡の暮らし･仕事をテーマに オンラインセミナー「ホンネサロン」開催
  「高岡Night～高岡市の人と、食と、暮らしに出会う～」開催
- **10月** 市内来訪ツアー第１弾「国宝勝興寺巡り」
- **11月** 市内来訪ツアー第２弾 ※企画中

NFT(Non-Fungible Token)を活用した鉄道デジタルカードを市内に設置し、POSTUDIOで登録した人が高岡を訪れていただけるよう工夫しました。施設内では銅器や漆器、アルミなど、高岡を代表する商品を展示し、カフェでは「くによしりんごジュース」や「森田農園のトマトジュース」の試飲提供も行いました。





「高岡Night」ではこんな声をいただきました！

高岡で活躍している人と話すことで、住みやすさや仕事などの魅力が、リアルに伝わった！

くによしりんごジュースが濃厚で凄く美味しい。子供を連れて雨晴に行ってみたい。

「高岡Night」参加者のアンケートでは、参加前は高岡市の認知度は4割程度でしたが、参加後には9割以上の人が高岡市を訪問してみたいと回答してくださいました！



「高岡Night」の様子



移住コンシェルジュ
和田 庸さん

高岡の魅力をもっと知ってもらうために、これからも都市部での移住の呼掛けを続けていきます。高岡に興味をもってくれる人が一人でも増えるよう、地域の皆さんと一緒に活動していきます。皆さんも高岡の魅力をぜひ周りの方に伝えてください！

北陸新幹線に乗ってお出かけしよう


W7系

第75回2026 たけふ菊人形



たけふ菊人形は、北陸の秋の風物詩として、10月9日から開催しています。「越前妖怪物語～ちょっと怖い、でも楽しい。～」をテーマに、妖怪の菊人形を展示します。OSK日本歌劇団による「たけふレビュー」も同時開催中。大人の魅力とロマンあふれる華やかなステージで皆様を魅了します。
大型遊具の運行もあり、幅広い世代にお楽しみいただけるスポットです。



と　き　11月8日㈰まで　9:00～17:00
ところ　福井県越前市高瀬二丁目　武生中央公園
アクセス　北陸新幹線「新高岡駅」から「越前たけふ駅」まで約1時間
越前たけふ駅からタクシーで約12分
問合先　たけふ菊人形まつり実行委員会
TEL 0778-21-0175

詳しくはこちら

市長コラム



― 移住で拓く高岡の未来 ―

7月から10月にかけて、日本郵政グループがJR高輪ゲートウェイ駅近くに開設した「POSTUDIO（ポスタジオ）」では、高岡市の魅力発信と移住促進イベントが行われました。

会場の巨大スクリーンには、雨晴海岸や高岡古城公園、高岡大仏などの美しい映像が映し出され、高岡の銘酒「勝駒」や、誇るべき銅器・漆器・錫製品がずらりと並んでいました。

今回の取り組みは、来場者が実際に高岡を訪れたり移住相談をしたりといった「実績」に応じて日本郵政へ報酬を支払う「成果連動型民間委託契約（PFS）」を活用しています。日本郵政グループにとっても初めての試みとなるこの先進的なコラボレーションは、市職員自らが日本郵政側に提案して実現したものです。

日本郵政の常務執行役員・砂山直輝さんは、全国2万4,000の拠点を念頭に、「地方に移住者が増えて元気をもたらすことは、我々にとっても重要。高岡市との連携は、新たな挑戦です」と力強い言葉をかけてくださいました。

8月に発表された統計に、目を留めました。7月に首都圏で販売された新築マンションの平均価格が、前の年の同じ時期と比べて63.7%上昇し、1億6,493万円になったというのです。普通のサラリーマンには手の届かない水準です。これからの日本を支える若い方々にとっては、深刻な状況と言えます。

こうした中、本市では5月から、移住した新婚世帯を対象に、家賃の半分を補助する「移住新婚世帯家賃支援金」を始めました。若い力を、高岡に呼び込んでいきたいと思います。

移住施策は、まちづくり全体の総仕上げのようなものだと考えています。働く場も、教育も、にぎわいづくりも、災害への備えも、全てがつながっています。

移住は、多くの場合、いきなり決まるものではありません。一度訪れ、まちを歩き、暮らしを思い描いてみる。その入り口になるのが、祭りであり、公園であり、日々の風景です。高岡を訪れた方が「高岡で暮らしたい」と思ってくださる。その積み重ねが、移住につながっていくのだと思います。

地域で支える子どもの笑顔！

～11月は「オレンジリボン・児童虐待防止」推進月間です～



問合先　こども家庭センター TEL 20-1466 FAX 20-1665

○子どもの権利が守られる体罰等のない社会へ

保護者が「しつけ」と称して暴力・虐待を行い、死亡に至るといった重篤な結果につながる痛ましい事件が全国で起きています。しつけのためだと思っても、子どもの身体に、苦痛や不快感を意図的に与える行為は、どんなに軽いものであっても体罰に該当します。また、子どもへの怒鳴りつけや、無視、子どもの存在を否定するような言動は、子どもの権利を侵害し、子どもの健やかな成長・発達に悪影響を与える可能性があります。

○子育てはいろいろな人の力と共に

子育てを頑張るのはとても大変なことです。子育てに関する悩みや不安は、一人で抱え込まず、相談窓口にご相談ください。また、子育て中の保護者の方々が、孤立することなく安心して子育てできるよう、みんなで子育て家庭を温かく見守り、声をかけ、困っていたら手を差し伸べましょう。

◇子育てについての相談窓口

こども家庭センター　市役所２階 TEL 20-1466　保健センター１階 TEL 20-1344
子育て支援センター　高岡 TEL 28-4114　福岡 TEL 64-2090　万葉なかよし保育園 TEL 22-1881
高岡児童相談所 TEL 25-8314

◇虐待かもと思ったら

TEL 189（いちはやく）　※お近くの児童相談所へつながります

○ヤングケアラーを知っていますか。

ヤングケアラーとは、本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者のことです。責任や負担の重さにより学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

日常的にしていること

- 障がいや病気のある家族に代わり、買い物、料理、掃除、洗濯などの家事をしている
- 家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている
- 障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている
- 目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



こどもが一人で悩みを抱えず、自分の気持ちを話せるよう周囲の大人が気付き、声をかけ、寄り添うことが大切です。「ヤングケアラーかも…」と思うこどもがいたら、相談窓口にご相談ください。

ヤングケアラーについての相談窓口　こども家庭センター　市役所2階　TEL 20-1466
少年育成センター「少年なんでも相談」 TEL 20-1653

11月1日～12月1日は【犯罪被害者月間】です

高岡市犯罪被害者等支援条例の施行について

問合先　市民生活課 TEL 20-1327

市では犯罪被害者やその家族の心に寄り添い、犯罪被害者等の権利利益を保護することで、市民が安全で安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、「高岡市犯罪被害者等支援条例」を施行しています。犯罪にあった被害者は、犯罪による直接的な被害に加え、周囲の偏見、経済的な損失などの二次被害、再被害への不安などに苦しめられることから、周囲の人たちの理解と配慮が何より大切です。

わたしたちにできる被害者支援

市民の皆様ができること

犯罪被害者等の状況を理解し、寄り添った対応を心がけましょう

・挨拶や声掛けなど普段どおりに接する
・無責任なうわさ話はしない
・話し相手になり気持ちに寄り添う　など

事業者の皆様ができること

安心して仕事を続けられるよう職場の環境を整備しましょう

・従業員の休暇取得や業務量調整などの配慮
・犯罪被害者等への理解を深めるための職場研修の実施　など

市の主な取り組み

相談窓口における必要な情報の提供

理解促進に向けた**広報・啓発**活動

経済的負担軽減に向けた**支援金等**の支給

市内のこどもまんなかの取り組みを紹介します！　問合先　子ども・子育て課 TEL 20-1393

#こどもまんなかやってみた

成美校下「地域子育て広場」運営協議会



「夏休みも友達といっぱい遊びたい！」「孫を遊ばせてやりたいけど、熱中症警戒アラートで外に出られない」地域からそのような声を聴き、民生委員と地域の方とで協議会を立ち上げました。高岡市の「地域子育て広場事業費補助金」を活用し、夏休み期間中、毎週月曜日９時30分から11時30分まで、成美地区交流センターにて「ココカラひろば」を開設しました。送迎は保護者にしてもらい、開設中は学習の時間、遊びの時間、ふりかえりの時間を設けます。夏休みの宿題をしたり、新聞紙をおにぎり型に丸めたボールでドッジボールをしたり、ペットボトルを再利用したボーリング大会などをしたりして、大変盛り上がりました。

最後に今日楽しかったことや次に遊びたいことなどを発表してもらうと、こどもたちからは「楽しかった！来週も楽しみ」「今度は○○をしたい！」などの声が聞かれ、保護者の方からは「こどもが楽しそうでよかった」「おばあちゃん仲間ができて良かった」などの感想がありました。今年度は、冬休み期間と春休み期間も開設予定です。来年度以降も継続して実施し、『ココカラ』子育て家庭を応援し、少しでも地域のみなさんをつなぐお手伝いができれば幸いです。

©Fujiko-Pro





9/13 高岡城に思いをはせて

高岡古城公園で、前田利長公が入城した日を記念して「高岡城わくわくフェスティバル！」が開催されました。園内では、放鷹術実演・鷹匠体験や古城公園の未来を考えるパネルディスカッション、高岡城マルシェなどが行われ、大人からこどもまで多くの人で賑わいました。家族やいとこと鷹匠体験をした結朱ちゃん、向日ちゃん、道くんは「楽しかった、思ったよりも鷹が重かった」など笑顔で話しました。

9/23 1年の汚れをすっきり

秋晴れの下、高岡大仏まつりが大仏寺で開かれ、1年に1度白装束に身を包んで大仏さまを拭き清める「お身ぬぐい」が行われました。お身ぬぐいの後には、大仏さまの台座に上がれる特別拝観も行われ、多くの人がいつもよりも近い距離で、手を合わせていました。お身ぬぐいに始めて参加した人は、「間近で大仏さまを見る機会はなかなかないので、とても貴重な体験ができた」と感慨深げでした。





10/2〜4 万葉集を歌い繋ぐ

高岡万葉まつりが古城公園で開催され、メインイベントの万葉集全二十巻朗唱の会や芸能発表、万葉茶会などが行われました。朗唱の会では、市内外から多くの人が参加し、大伴家持らが過ごした時代に思いをはせながら歌を詠み繋げました。いっぱい練習して参加した坂ノ下保育園の園児たちは「うたうのが楽しかった」と満面の笑みを浮かべました。

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。

動画　スライドショー

あなたの命を守る！「マイナ救急」



救急隊員が傷病者のマイナ保険証（マイナンバーカード又はマイナ保険証を搭載したスマートフォン）を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みが**マイナ救急**です。

マイナ保険証を利用するメリット



自分の病歴や飲んでいる薬を救急隊に正確に伝えることができる



円滑な病院選定や適切な処置が行える



搬送先の医療機関で治療の事前準備ができる

何をすればいいの？

●マイナンバーカードを所有し、「健康保険証としての利用登録」を完了する。

●外出時にもマイナ保険証を携行する。



マイナンバーカード

＋



健康保険証利用登録

マイナンバーカードを所有し、かつ、健康保険証の利用登録が完了している必要があります。

マイナ救急に関するQ&A

Q1. **救急隊員に、「救急活動に関係のない個人情報」も見られてしまうの？**

A1. 救急隊員がシステムで閲覧できるのは、氏名や住所等の券面状の情報と受診歴や薬剤情報などの医療情報だけです。税や年金などの救急活動に関係のない情報は閲覧できないようになっています。また、救急隊のタブレット端末に情報は残りません。

Q2. **救急車を要請するような緊急時でも、マイナンバーカードの暗証番号の入力はしないといけないの？**

A2. マイナ救急では、救急隊員が傷病者の顔と券面上の写真を確認して本人確認を行うため、マイナンバーカードの暗証番号は原則入力不要です。

【問合せ先】
消防本部 警防課
TEL 22-3133 FAX 22-1994

詳しくはこちら

高岡市公式SNS

LINE　X　その他SNS

広報紙はデジタルでも配信しています

市HP　カタログポケット

広報紙に対するご意見はこちら

令和6年能登半島地震 支援・対応等関連情報

令和8年9月末現在 **人口** 159,852人（うち外国人 4,861人） 男 77,928人 女 81,924人

区　分	自然増減（出生－死亡）	社会増減（転入－転出）	計
令和8年9月中の増減	－143	－36	－179
令和8年1月からの増減	－1,181	－65	－1,246

世帯数 71,678世帯（うち外国人世帯 2,986世帯）
令和8年9月中の増減－10

発行／富山県高岡市（〒933-8601高岡市広小路7-50）TEL(0766)20-1111　編集／広報発信課 TEL20-1331 FAX20-1664　印刷／平田印刷株式会社